

(b) 冬季における野外活動の災害防止策について

(2) 実技 ホステリング

8, 参加人員 46名

F 教育キャンプ村開設

1, 趣旨

近年野外活動が青少年を中心としたグループの間に急速普及発展した反面教育的見地からみたとき、必ずしも健全なものばかりとは思われない状況にあるので、モデルとなるキャンプ場を設け、自主的に野外活動を実施しようとする青少年に利用させ、これを指導助言し、キャンプ活動の正常な発展を図るため本講習会を実施した。

2, 主催 福島県教育委員会

開催地教育委員会

3, 場所 耶麻郡猪苗代町磐梯山麓キャンプ場

4, 開設期日 昭和36年 7月25日～8月13日

5, 利用方法

(1) 指導者の引率する中学生以上の学生徒並びに勤労青少年で、1グループ10名以上の団体であること。

(2) 貸 2する物品

テント(シート付 4・5人用毛布、シャベル、バケツ、庖丁、まな板等を無料で貸与

(3) 物品の貸与及び返還

キャンプ地へ到着と同時に県の指導者より必要数を受けとり、使用方法等について指導をうけ、使用後は県の指導者の検査を受けて返還する。物品を損傷或は紛失した場合は弁償しなければならない。

(4) 収容人員 1日 100名

6, 指導講師

福島県教育委員会事務局保健体育課

指導主事 鈴木善兵衛

主事 宗像 辰雄

福島県体育指導委員

渡部 義健

福島県立福島商業高等学校教諭

吉野 尚

郡山市教育委員会事務局保健体育課

小杉 善郎

福島大学学芸学部講師

佐藤 克己

福島体育振興委員

鈴木 正恵

その他県保健体育課員が隨時出張し指導助言にあたつた。

7, 指導講師の任務

キャンプ地には、常に2名の指導者が駐在し、参加団体の責任者と協力のうえ、キャンプ地の秩序維持並びに器具用具の管理と参加者に対して指導助言を与えた。

8, 参加団体

双葉町青年会、川俣高校、吾妻二中、福島六中、鮫川中学、郡山女子短大、郡山青年会、睦合中学、若松商業大戸中、豊里中学、表郷中学

9, 参加人員 711名

G 青少年スポーツ活動指導者講習会

1, 趣旨

青少年スポーツ活動は、近時種の形で普及しているが一面単なる子供たちの欲求にもとづく自然のなりゆきにまかせ、放任のおそれもあるので、この時代に、スポーツ活動の実践をさせるためには、意図的に指導する必要がある。これらの指導者に理論と実技の両面にわたり研修の機会を与え、その資質の向上をはかるため、本講習会を開催した。

2, 主催 福島県教育委員会

3, 期日 昭和36年 1月26日～28日(飯坂)

昭和36年 3月26日～29日(平)

4, 場所 飯坂町、平市

5, 参加範囲

(1) 小中学校及び高等学校教職員

(2) 各市町村教育委員会関係職員及び体育指導委員

6, 講師

全国高等学校体育連盟理事長 高田 通

郡山市教育委員会事務局保健体育課長 先崎 晴

福島大学学芸学部講師 佐藤 克己

福島県教育委員会事務局保健体育課長 鈴木 勝枝

同 指導主事 鈴木善兵衛

同 主事 佐々木英雄

同 主事 宗像 辰雄

体育指導委員 鈴木 正恵

同 赤津 勝二

福島大学学芸学部助教授 青田 峰雄

若松市教育委員会事務局保健体育課長 中島 光次

平市教育委員会事務局主事 坂本 智

福島県体育指導委員 田中 英男

7, 講習内容(飯坂会場)

講義

(1) 青少年スポーツ活動の本義について

(2) 青少年スポーツ活動の組織育成とその運営について

(3) 青少年スポーツ活動におけるリーダーの役割について

実技

参加者数 47名

講習内容(平会場)

現代社会と青少年スポーツ活動について

青少年スポーツ指導上の諸問題について

東京オリンピック大会と体育指導委員の活動について

地域に即した青少年スポーツ活動のすすめ方

スポーツ活動と健康管理の諸問題について

実技

参加者数 61名

H 野外活動指導者講習会

1, 趣旨

次代をになう青少年の健全な発達を図るために、青少年に教育的なキャンプ活動を奨励し、自然に親しませ、共同生活を通して、奉仕、協同、友情、郷土愛の精神を体得させることが緊要な措置と思料されるので、関